

2025年度事業計画

基本方針

競技参加者の募集開始(2026 年春)を節目とし、目標に掲げる参加者5万人の確保に向け、競技別実施要項を含む大会の全体像を示す実施計画の策定を進めるとともに、戦略的な広報・誘客活動の展開や、簡便で汎用性の高い参加者申し込み(エントリー)の仕組みの構築と運用、宿泊や観光・交流等の情報発信に力を注ぐなど、実行委員会、連携団体等と一丸となって本格的な大会・競技運営準備に取り組む。

2025年度主要事業及び主要事業予算の概要

(単位:千円)

<予算総額> 370,710(前年比 +188,535)

■事業費 268,950(前年比 +153,635)

1 競技運営準備 71,000 (前年比 +67,860) (「2 大会運営準備」との合計)

最大目標である参加者5万人の確保に向け、利便性向上や効率的な競技運営のため、実行委員会・競技団体等との調整を密に行い、随時競技日程及び競技会場の追加変更等を検討。また、競技別実施要項の公表に向けた着実な準備等の推進。

主な事業

- ①参加者確保に向けた、弾力的な競技会場・内容・日程等の調整
- ②競技別実施要項の策定、等

2 大会運営準備

大会運営準備体制を充実し、大会機能の在り方の再検討や開閉会式の具体化、大会ボランティア確保の準備など、これまで以上に実行委員会との連携を図るとともに、地域の特色を最大限活用できる大会運営の準備。

主な事業

- ①大会総合実施計画の策定、公表
- ②大会機能(大会運営本部、受付・案内所、交流の場など)の在り方及び配置計画等の再検討
- ③開閉会式に係る式典およびイベントの再企画及び運営準備(10,000)
- ④大会ボランティア確保の業務内容、配置計画の見直し(10,000)、等

3 参加者対応 80,000（前年比 +80,000）

参加者がストレスなくエントリーができる仕組みを構築。

（プロポーザル方式による入札を実施。年内の完成を見込む）

宿泊、交通・観光についても、簡素で効率的な申込ができる仕組みの構築を準備。

主な事業

- ①エントリーの仕組みの構築と運用
- ②宿泊、観光・交通エントリーの仕組みの構築準備、等

4 広報・誘客 117,950（前年比 +5,775）

(1) 広報 43,650

エントリー開始時の節目イベントを開催するほか、PRチラシ、ポスターの制作や各競技大会プログラムへの広告出稿、大会HP等による情報発信を実施。

主な事業

- ①節目（エントリー開始時）イベントの開催（10,000）
- ②広報グッズ、ポスター等製作（26,000）
- ③各競技大会プログラム、機関誌等への広告出稿、等

(2) 誘客 74,300

競技横断の大型大会や個別競技の大会など幅広い機会において誘客を実施する。

①国内向け（53,030）

WMG参加者層が集まる競技大会等を中心としたPR活動や、過去大会参加者による大会の魅力・価値の発信など様々な手法の活用と、日本スポーツ協会、日本パラスポーツ協会等とこれまで以上に連携し、競技者を大会参加まで高める活動を実施。

主な事業

- ①WMG 参加者層が出場する競技大会等への重点的なPR（6,000）
 - ・日本スポーツマスターズ（9月 愛媛） ・ねんりんピック（10月 岐阜）
 - ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（10月 滋賀）
- ②ウオームアップジャパンフロムWMG関西の充実（30,000）、等

②海外向け（21,270）

類似大会へのブース出展など大会参加者に対し直接働きかけに加え、各国マスターズ関連大会の組織委員会や運営団体との連携協力による誘客活動を行うほか、デジタルメディアを活用した情報発信や競技別・ターゲット国別に効果的なアプローチを実施。

主な事業

- ①デジタルメディアを活用した海外PR・誘客
- ②海外類似大会でのPR・誘客
 - ・WMG2025 台北&新北市大会（開閉会式・EXPO） ・スポーツアコード（ローザンヌ）
 - ・オーストラリア マスターズ ゲームズ（キャンベラ） ・ニュージーランド マスターズ ゲームズ（ワンガヌイ）

■管理費 101,760(前年比 +34,900)

5 法人・事務局運営 101,760(前年比 +34,900)

大会準備の本格化、大会運営・競技運営等の見直しが必要となることから、効率的な集団指導の事務局体制を拡充・整備し、本格的な開催準備に取り組む。

取り組みを着実に推進するため、構成府県市の職員派遣を再開し組織委員会と実行委員会の連携を強化。

主な事業

- ①法人運営業務
- ②事務局運営業務、等